

福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

新任挨拶



中央部門 材料部 部長 見城 明

普段は、消化器外科(主に肝胆膵・移植外科)の診療を行っており、材料部が大変お世話になっています。平成30年4月より、中央部門 材料部部長を兼任させていただくこととなりました。

材料部の役割、業務について、説明させていただきます。

患者さんを対象として診察、検査、治療、手術を行う際、外来・病棟・手術室などにおいて、目的に応じて様々な材料(器械・器材・内視鏡など)を使用します。材料部とは、これらの材料を適切に管理し、滞りなくお届けする役割を担った中央部門の一つです。

材料部の役割としては、主に①洗浄・滅菌、②物流管理の2つに分けられます。

①洗浄・滅菌：使用材料の回収・洗浄・滅菌の一連の作業を

行います。年間10万件に及び器械洗浄ならびに30万件以上の滅菌作業を行い、年々その件数は増加しています。さらに、医療の高度化に伴い、繊細かつ精緻は器械が増えるとともに、診療科の細分化や手術件数の増加に伴い、正確・丁寧でかつ効率的な作業が求められ、その対応として二次元バーコードを活用し、器械を個々に識別し管理するシステムも導入しています。

②物流管理：業者より購入するディスプレイ材料の管理を行うことが主な目的です。安心・安全かつ、経済性にも優れた材料であるかを吟味するとともに、使用後の状況を確認し、フィードバックをかけています。

患者さんに直接かかわる部署ではありませんが、患者さんに安心して福島医大病院で医療を受けていただくためには極めて重要な業務です。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ココロの「夏バテ」—ココロの脱水症状を防ぐために—

大学健康管理センター 臨床心理士 松本 貴智

今年も、夏の日差しが強く感じられる季節となりました。四季折々の景色が感じられるのは素晴らしいことですが、暑すぎるのはさすがに身体にはストレスです。それは心の状態も同じで、周囲の環境における心理的ストレスが高いと、勉強や仕事がかたくならぬなどの、いわゆる「身体の夏バテ」のような状態になります。

私たちは「身体の夏バテ」にならないように、十分に水分や栄養を摂取し、よく眠るなどの対処をします。心が不調の時も同じです。十分な食事と睡眠を確保することが、「心の夏バテ」を悪化させない方法です。そして私たちは暑い日差しを避けるために木陰で休んだりしますね。心も同じで、心理的ストレスが強い時は、それを避けて十分に休むことで心のバランスを回復することができます。

我々はどうしても「まだ大丈夫」「頑張らないといけない」「負けていけない」と、必死に努力をします。これは素晴らしい人間

の前向きな活動です。しかし、知らず知らずに「気持ちの脱水症状」が起きては、元も子もありません。身体も心も早期発見と早期対処が大事です。どんなに大変でも、必ずどこかには休める木陰があります。そして日中の気温が高い時(ストレスが強い状況の時)に頑張らなくても良いのです。夏は、朝晩の涼しい時に活動することを私たちはやっています。心も同じように自分の活動しやすい時に「頑張る」ことが大事です。

良い夏をお過ごしください。

第42号のなにかみ

- 1 ページ ... ○新任挨拶 ○ココロの「夏バテ」
- 2 ページ ... ○看護の日を終えて
- 3 ページ ... ○パンダハウス改装オープン「新たなかどで」
○患者様満足度調査結果
- 4 ページ ... ○さぼろ棟外来に看護外来が新設されました

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院
入院セットレンタル

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口
024-548-8777



* 院内1階、入退院受付横 9番窓口
月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休日)
土曜日はさぼろ棟1階ローソン南側にて営業します。



マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(7号館内)
ローソン福島県立医科大学会津医療センター店

看護の日を終えて



5月16日、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日(5月12日)にちなんで医大病院では、昨年同様、地域住民の皆様に看護や健康に対する関心を深めていただきたく、看護の日のイベントとして、きぼう棟正面玄関フロアとみらい棟ときぼう棟をつなぐフロアで開催しました。病院に来院されている方に看護師の理解を深めていただいて、

多職種で院内活動の内容の一部(身体測定、体脂肪測定、栄養相談、手洗いトレーニング、AED使い方教室、理学療法士による腰痛、肩こりの緩和体操)、認定看護師紹介をすることができたと思います。参加して下さった皆様からは、看護師へたくさんの温かいメッセージを数多くいただきまして、誠にありがとうございました。皆様の生の声を聞くことができ、イベント実行委員をはじめ、協力を頂いた病院の管理栄養士、理学療法士の皆様に感謝いたします。医大の看護師として誇りに思えた時間でした。また報道関係各社の取材があり、新聞やテレビ報道でとりあげていただきました。テレビでは、来院者やスタッフの笑顔が素敵で心が温かくなった瞬間でした。これからも私達は、皆様の疾病予防と健康増進にチーム医療で努めていきたいと考えています。

看護の日実行委員長 堀江千代美



～看護師による血圧測定・健康相談～



～栄養士による栄養指導～



～AEDの使い方教室～

パンダハウス改装オープン「新たなかどで」

平成30年春、パンダハウスは兼ねてよりの念願が叶い、居室7室で多目的ホールや相談室も備えたハウスとして、新しくオープンすることができました。パンダハウスは1997年より福島県立医科大学附属病院で治療する子どもさんやご家族の方々にご利用いただけてきました。しかし旧棟は3部屋しかなく予約が取れずご不便をおかけしてきました。「増築を！」とのお願いに多くの方にお応えいただき、昨年増築棟が完成し、既に多くの方々にゆっくりと寛いご利用いただいております。そしてこの度、日本財団様の助成金を得て旧棟の建て替えをすることができました。この新棟の居室4室は、長期滞在の方や、感染に配慮しなければならない方にもご利用いただけるようにバス・トイレ付きとなっています。また「多目的ホール」は家族会の皆様の交流の場にもお使いいただけるようにしました。また、パンダハウスの相談員は福島県立医科大学

附属病院と協定を結ばせて頂き連携を図りながら病気を乗り越え、または、病とともに生活する子どもとその家族が「地域で安心して生活できる」ことを目指し、子どもの成長に応じた長期的な支援をパンダハウスを拠点としておこなう新たなスタートです。今後共よろしくお願ひ致します。



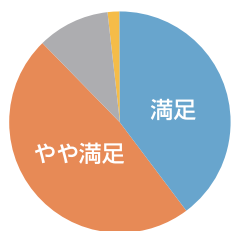
患者様満足度調査結果

平成29年11月から12月にかけて、外来及び入院についての患者様満足度調査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

調査項目は大きく「施設面」、「接遇面」、「診療面」、「サービス体制面」に分かれています。

◆外来部門

- 有効回答者数 589人、平均年齢 56.1歳、男女比 男性：46.8%、女性：53.2%
- 総合満足度：「満足」と「やや満足」の合計が 87.9%
- 診察までの待ち時間が 41.9分と昨年度より 3.7分短縮しました。



外来

総合満足度 有効回答者数：553人

「当院について、総合的にはどうおもわれますか？」

	当院全体	調査病院平均差	前回調査との差
満足	39.8%	+2.1%	+3.7%
やや満足	48.1%	-0.4%	-3.1%
どちらともいえない	10.3%	-1.1%	-0.3%
やや不満	1.6%	-0.4%	-0.3%
不満	0.2%	-0.2%	0.0%

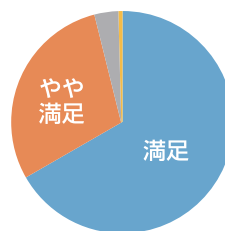
(参考)日本病院会 2016年度 QIプロジェクト参加 243病院平均
満足：42.7% やや満足：39.9%

◆入院部門

- 有効回答者数 549人、平均年齢 57.1歳、男女比 男性：52.1%、女性：47.9%
- 総合満足度：「満足」と「やや満足」の合計が 96.4%
- 全ての項目で前回調査より高い評価となりました。特に高い項目は、「施設面」の「医療機器等の設備」、「食事・喫茶・買物施設」が平均より上回り、「サービス体制面」の「レンタル用品」、「整理整頓」、「安全面」、「職員間の連携」が高くなりました。

この調査結果を、今後の患者サービス向上活動の参考にいたします。

患者様の調査へのご協力に感謝申し上げます。



入院

総合満足度 有効回答者数：519人

「当院について、総合的にはどうおもわれますか？」

	当院全体	調査病院平均差	前回調査との差
満足	66.7%	+10.4%	+4.6%
やや満足	29.7%	-5.0%	-4.9%
どちらともいえない	3.5%	-4.0%	+0.4%
やや不満	0.2%	-1.0%	0.0%
不満	0.0%	-0.4%	0.0%

(参考)日本病院会 2016年度 QIプロジェクト参加 243病院平均
満足：58.4% やや満足：31.5%

※調査病院平均：同内容の調査実施 32病院の平均値(平均病床数：440床)

きぼう棟外来に看護外来が新設されました
～いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護を目指して～

平成30年5月きぼう棟外来に看護外来が新設されました。ブースは、プライバシーが確保された静かで温かみのある落ち着いた雰囲気のある個室に整えられ、ゆっくりと対話ができる環境になりました。看護外来は、特定分野の知識や技術を深めた専門的な資格を持った看護師（専門看護師や認定看護師など）が、疾病や障がいと共に暮らす患者さんの「生活」と「医療」の両方の視点から生活機能障害を評価し、具体的な支援の提案やケアを実施し、ご家族も含めた指導や相談を行う外来です。看護部では、現在、4分野の専門看護師、15分野の認定看護師が31名在籍しております。

現在、がん看護外来、放射線看護外来、ストーマ外来、リンパ浮腫ケア外来、助産外来、不妊相談外来、フットケア外来が開設されていますが、今後さらに拡大していく予定です。看護専門外来における質の高い看護の提供が、患者さんにご家族のよりよい「生活の質」に貢献できるように取り組んでまいります。



フットケア外来



談話室



助産外来

お気軽にどうぞ
ご相談ください



すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。